

肺切除後の左心房内血栓形成メカニズムの解明と術前予測モデルの構築に関する研究

研究協力をお願い

この研究は中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間 昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2015 年 1 月 1 日から 2028 年 12 月 31 日までに日本医科大学付属病院呼吸器外科で術前後の CT を撮像している左肺上葉切除術の治療を受けられた患者さん。

2. 研究の目的

本研究の目的は、肺左上葉切除術に伴う左房形態の変化を定量的に評価し、左房内血栓形成との関連を明らかにすることである。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学付属病院を研究代表機関とする多機関共同研究で、研究代表者は日本医科大学付属病院臼田実男、研究事務局は日本医科大学付属病院 鈴木健人です。他の参加研究機関は東京大学大学院（研究責任者：小谷 潔）です。

2015 年 1 月 1 日から 2028 年 12 月 31 日までに日本医科大学付属病院呼吸器外科で肺切除術の治療を受けられた患者さんの CT 検査結果などを 3 次元解析し、血栓リスクと左房の形態変化についての検討を行います。

研究実施期間は研究機関の長の実施許可日から 2033 年 12 月 31 日までです。

利益相反なし）

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：血液など

情報：CT データ、年齢、性別、血圧値、肝機能、凝固系指標など

利用を開始する予定日：実施許可日

提供を開始する予定日：実施許可日

試料・情報の提供を行う機関：日本医科大学付属病院（院長：山口 博樹）

試料・情報の提供を受ける機関：東京大学大学院新領域創成科学研究科（科長：伊藤 耕一）

試料・情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する試料・情報は、個人が容易に特定されないよう記号化した番号により管理されます。患者さんの個人情報、個人が特定できる形で使用されることはありません。

試料は、以下の場所に保管されます。

日本医科大学付属病院：呼吸器外科の施錠可能な保管庫

東京大学大学院新領域創成科学研究科：新領域創成科学研究科の施錠可能な保管庫

情報は、以下の施錠可能な場所に設置された、インターネットに接続されていないパスワード保護されたパーソナルコンピュータに保管されます。

日本医科大学付属病院：呼吸器外科医局

東京大学大学院新領域創成科学研究科：新領域創成科学研究科教室

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、試料・情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 呼吸器外科 鈴木健人

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：0000

メールアドレス：s-kento@nms.ac.jp

東京大学大学院新領域創成科学研究科 小谷 潔

〒277-8561 千葉県柏市柏の葉 5-1-5

電話番号：04-7136-4003（代表）

メールアドレス kotani@neuron.t.u-tokyo.ac.jp